

令和5年度事業報告

I. 令和5年度の取り組み概要

- ・令和5年度は、3年間続いた新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行され、国際関係の緊張や、原材料・燃料の高騰等はあるものの、年度末には日銀のマイナス金利解除、株高、企業のベースアップ報道など、社会・経済活動は活発化してきた。
- ・こうした状況下、事業再構築や事業承継を契機とした新分野・事業展開、新商品開発にオープンイノベーションで取り組む頑張る中小企業等を支援するため、当該年度のKICCの活動は、これまでの取組みを継承し、引き続きオープンイノベーションを推進し、政府が重点項目とするスタートアップ支援等の観点を盛り込むとともに、昨年度の意見交換を踏まえた改善を加えつつ取り組んだ。
- ・また、KICC事業の活性化に向け、構成機関との意見交換や交流会を実施した。

主な取組みは、以下のとおりである。

1. KICC 構成機関とのネットワーク強化
2. 大企業と地場中小企業とのニーズ・シーズのマッチング事業化支援
3. 開放試験研究機器等のデータベースの更新と活用の促進
4. KICC 構成機関のコーディネータのネットワークによる企業の事業化支援
5. 広報活動の実施

II. 個別の取り組み

1. KICC 構成機関のネットワークの強化

(1) 通常総会及び特別講演会の開催

- ・通常総会を開催し、令和4年度事業報告（案）、令和5年度事業計画（案）、役員等の選任（案）について所要の審議を行い承認いただいた。
- ・通常総会後に特別講演会を開催し、(国研)産業技術総合研究所インダストリアルCPS研究センター殿と(株)ケイエスピー殿からご講演いただいた。

① 通常総会

開催日：令和5年7月25日（火）

場 所：博多サンヒルズホテル（福岡市）

出席者：55名（委任状含む、会場出席32名）

② 特別講演会

聴講者：77名（会場 52名、オンライン 25名）

<講演 1>

- ・テーマ：データ関係によるモノづくりからコトづくりへの展開
- ・講師：(国研) 産業技術総合研究所インダストリアル CPS 研究センター
センター長 谷川 民生 氏

<講演 2>

- ・テーマ：ベンチャーエコシステムとオープンイノベーション
- ・講師：株式会社ケイエスピー 代表取締役社長 窪田 規一 氏

(2) 幹事会の開催

- ・幹事会は13名で構成。
- ・KICC 事業の推進と円滑な運営を図るため幹事会を開催し、令和4年度事業報告(案)及び令和5年度事業計画(案)等を審議(書面)した。

(3) ネットワーク活動

- ・令和5年度末の KICC 構成機関は62機関。
- ・構成機関の公募情報や取組みなどの情報発信を9件行った。
- ・KICC 事業の活性化を目的に、事務局(共同3機関：産総研九州、中小機構九州、九州オープンイノベーションセンター)が工業技術センター、大学・高専、支援機関等を訪問し、KICC 事業の紹介、開放試験研究機器等データベース、コーディネータ等の活用の活性化等に関する意見交換を行った。

実施時期	令和5年10月～令和6年2月
意見交換機関	鹿児島大学、北九州市立大学、早稲田大学、 熊本工業高等専門学校、大分工業高等専門学校、鹿児島工業高等専門学校、 佐賀県工業技術センター、宮崎県工業技術センター、宮崎県食品開発センター、 鹿児島県工業技術センター、福岡県産業・科学技術振興財団、 佐賀県産業振興機構、くまもと産業支援財団、大分県産業創造機構、 宮崎県産業振興機構、かごしま産業支援センター、(株)産学連携機構九州、 農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センター、 (株)鹿児島TLO、九州地域バイオクラスター推進協議会 計20機関

(4) KICC 構成機関のコーディネータ間のネットワーク構築

- ・前年度に訪問した KICC 構成機関との意見交換内容を反映し、「コーディネータの顔が見える関係づくり」のため、九州経済産業局会議室にて産業支援機関コーディネータ交流会を開催した。

実施日	令和5年11月29日
参加機関	福岡県産業・科学技術振興財団、北九州産業学術推進機構、九州先端科学技術研究所、飯塚研究開発機構、佐賀県産業振興機構、くまもと産業支援財団、宮崎県産業振興機構、かごしま産業支援センター、九州オープンイノベーションセンター、久留米リサーチ・パーク、長崎県産業振興財団、大分県産業創造機構、産業技術総合研究所九州センター 計 13 機関
参加者数	32名

2. 九州企業と九州域外企業のニーズ・シーズのマッチング事業化支援

(1) 大手企業の技術ニーズ説明会の開催

- ・大手企業と地場中小企業の取引拡大を目指して、大手企業が欲しい技術・製品等を発表し、中小企業が解決法を提案して商談を進める技術ニーズ説明会を予定していたが、大手企業からニーズ発信の協力が得られず今年度は実施を見送った。
- ・今後はセミナー等のイベントの機会をとらえ不定期実施とする。

(2) KICC 機関向けオープンイノベーションセミナーの開催

- ・オープンイノベーション気運の醸成を図り、特に中堅・中小企業とスタートアップ企業の共創を推進するため、オープンイノベーション推進のポイントや先行事例および支援施策等を広く企業や自治体に周知するオープンイノベーションフォーラム『Co-Create Future KYUSHU～中小企業とスタートアップの挑戦～』を九州経済産業局と共催で開催した。

開催日	セミナータイトル	実施概要
2月28日	Co-Create Future KYUSHU ～中小企業と スタートアップの挑戦～	【会場】アクロス福岡（福岡市） 【参加者】合計200名 (会場84名、オンライン116名) 【プログラム】 ・基調講演 (株)浜野製作所 代表取締役 浜野慶一氏 ・施策説明(経済産業省 新規事業創造推進室) ・スタートアップのOI事例発表 ・パネルディスカッション ・名刺交換会

※登壇企業：東亜非破壊検査(株)、(株)CAST、佳秀工業(株)、タカハ機工(株)、(株)中山ホールディングス、(株)SUNAO 製菓

3. 開放試験研究機器等のデータベースの更新と活用の促進

- ・構成機関のご協力により運用している開放試験研究機器データベース、コーディネータデータベースによる各検索サイトを引き続き運用中。
- ・前年度に KICC 機関との意見交換の中で出された「更新作業の負担感解消対策」のため、データベースを改修。年度末の定期データ更新作業について、各機関から操作性が改善したと好評。
- ・KICC 機関への訪問活動や Web サイトを通じてデータベースの PR と利用促進に努めた。

開放試験研究機器データベースの更新状況

機 関 名		R 4 年度末 登録件数	修正件数	削除件数	新規件数	R 5 年度末 登録件数
公設試	福岡県	231	7	0	0	231
	佐賀県	189	173	24	4	169
	長崎県	162	77	4	5	163
	熊本県	203	0	0	0	203
	大分県	145	136	9	7	143
	宮崎県	177	145	6	11	182
	鹿児島県	137	0	0	8	145
	小 計	1,244	538	43	35	1,236
その他	大 学	367	166	27	16	356
	高 専	40	1	10	26	56
	支援機関	207	67	2	0	205
	産総研	3	0	3	0	0
	小 計	617	234	42	42	617
合 計		1,861	772	85	77	1,853

4. KICC 構成機関のコーディネータによるネットワークを活かした事業化支援

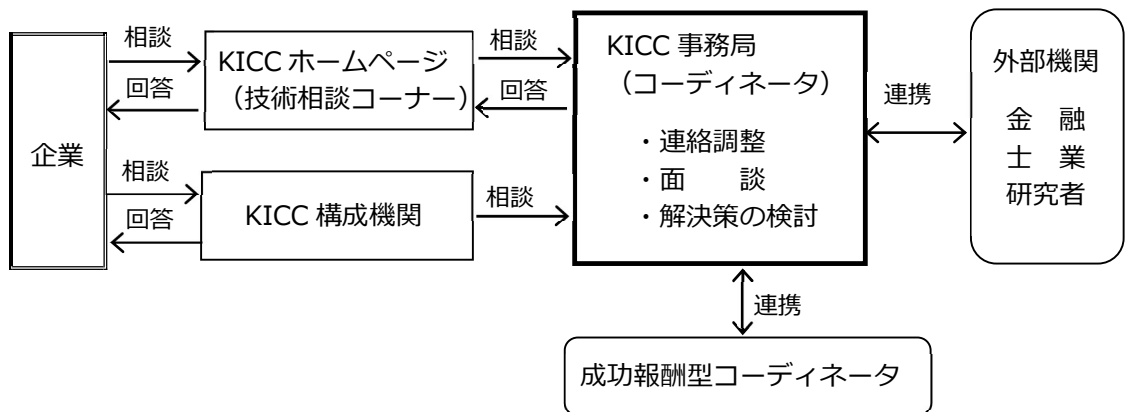
(1) 企業等の技術課題の解決に資するワンストップサービスの推進

- ・KICC による技術相談のワンストップサービスを実施した。
- ・令和 5 年度の技術相談件数：計 4 件

相談企業の 分野	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ・食品/製造加工技術：3 件 ・環境・エネルギー分野： 1 件
技術相談と 成果等	<ul style="list-style-type: none"> ① 福岡県 A 社 <ul style="list-style-type: none"> ・化粧品の植物由来原材料に対する消臭の技術相談。産総研殿の研究者とマッチング。 ② 福岡県 B 社 <ul style="list-style-type: none"> ・3D 培養皿の製造に関する技術相談。九州ヘルスケア産業推進協

	<p>議会(HAMIQ)殿と連携し関連企業とマッチング。</p> <p>③ 福岡県 C 社</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能性食品開発時に得られた組成物質の検出技術を応用した対外診断用薬品の製造販売に関する相談。HAMIQ 殿と連携し関連企業とマッチング。 <p>④ 大分県 D 社</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー・ハーベスティング技術に関して研究している研究機関、大学等に対し、微小電力 DC-DC コンバータデバイスの技術シーズに関するマッチング。
--	--

技術相談ワンストップサービスの仕組み



(2) 九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデーへの参加

- 九州経済産業局と産業技術総合研究所九州センターが主催、各県公設試、KICC 等の共催により、最新技術情報を提供する「九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー（令和 5 年 1 0 月 5 日開催）」に参加し、KICC の紹介等を行った。

5. 広報活動の実施

- KICC の Web サイトや KICC 機関訪問等を通して、KICC 事業や国当の支援施策等の情報提供、技術相談ワンストップサービスの紹介、開放試験研究機器の検索サイトの紹介、研究者情報等の提供を行うなど広報を行った。

Ⅲ. 決算額

件 名	支出額 (千円)	項 目
総 会	3 4 0	会場費
開放機器 DB ホームページ 改訂	1,6 2 0	委託費
旅費・通信運搬費	3 8 7	意見交換旅費、他
合 計	2, 3 4 7	【予算額2,500千円】

以 上